

河川女子レポート

TEAM-YONESHIRO
2023. 5. 10発行

レポーター
きみまちこ川



比井野川救急排水機場の 稼働訓練に同行しました！

排水機場とは？

洪水時に、米代川からの逆流を防ぐための水門等を閉じた場合に、行き場を失い、住居や農地側にたまった比井野川等の水を、強制的にポンプを使用して米代川へ汲み出して、**浸水被害を防ぐための施設**のことです。

今回は、4月26日（水）に二ツ井地区の比井野川救急排水機場で行われた排水施設の稼働訓練の様子をお届けします。

この訓練は、実際に洪水が起きた際の的確な手順で操作ができるよう、改めて確認し実践するもので、毎年、梅雨に入る前に能代河川国道事務所と維持工事業者が合同で実施しています。



～訓練の流れ～



① 洪水の状況を再現するため、水門を閉じて吸水槽に水を溜めます。



② 吸水開始の指示に従って操作し、ポンプアップを開始します。



③ 吸い上げられた水が吐出口から米代川へ吐き出され、正常に稼働することが確認できました。



実際に行われた排水作業の様子
(令和4年8月撮影)

✿ 編集後記 ✿

昨年8月の大雨では、多くの作業員の方々が長時間にわたって対応していただき、浸水被害の軽減に努めることができました。訓練の成果が発揮されたものと思います。繰り返して行う訓練の大切さを感じました。参加されたみなさま、たいへんお疲れさまでした。

